

# 萱瀬小だより



## やさしさ ゆめ げんき

令和3年7月15日

No. 8

文責 福永琢也

### ☆校長室の窓の外には

校長室の窓から見ると、雨が降っている日以外は、お昼になると養護の川添先生が「熱中症計」を用意してくれます。温度や湿度を計算し、熱中症へのリスクを知らせてくれます。毎日その度合いによって、「給水タイムを設定」「外遊び時間を短くする」「外遊び中止」という指示をしています。子どもたちは不満等もなく、必要に応じて室内で過ごしています。夏休み明けから運動会の練習も開始しますが、その際にも同じように確認をして、熱中症へのリスクを減らしたいと考えています。



### ☆教育週間の授業参観

以前お知らせしたとおり、6月25日～7月2日までは、「長崎っ子の心を見つめる教育週間」でした。これは過去長崎県で起きた悲しい子どもによる事件を受けて、県内の小中学校で実施されるものです。例年通りの内容は実施できませんでしたが、7月2日には道徳の授業参観を行いました。内容は「命」に関する学習でした。蒸し暑い中でしたが、たくさんの参観をいただきました。授業参観は子どもたちの大きな励みとなります。今後もたくさんの参観をお願いします。



### ☆夏休みに向けて

7月13日(火)に地区児童会を行いました。各地区に分かれて、危険箇所の確認、それぞれの地区の行事等について確認をしました。最近河川工事などに伴い校区内に工事車両が増えています。休み中も十分に注意するようにご家庭でもお話し

てください。休み中も十分に注意するようにご家庭でもお話し

### ☆校区内の確認をしました

7月14日(水)に健全協、市の青少年センター、学校が連携して「防犯キャラバン」が行われました。学校からは私と教頭先生が参加しました。2台の自動車に分乗し、



萱瀬中校区を見回りました。もちろん子どもたちの姿はありませんでした。加えて大人の目で校区内を確認できましたので、気付いたことは子どもたちに指導していきます。